

## 論文番号 172

### 担当

札幌医科大学 医学部 薬理学講座

### 題名 (原題/訳)

Fulminant hepatitis and fatal toxic epidermal necrolysis (Lyell disease) coincident with clarithromycin administration in an alcoholic patient receiving disulfiram therapy.

ジスルフィラム療法中のアルコール依存症患者へのクラリスロマイシン投与で生じた劇症肝炎と致死的中毒性表皮壊死剥脱病(ライエル病)

### 執筆者

Masia M, Gutierrez F, Jimeno A, Navarro A, Borrás J, Matarredona J, Martín-Hidalgo A.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Arch Intern Med 162(4):474-476 (2002)

### キーワード

アルコール依存症、ジスルフィラム、クラリスロマイシン、劇症肝炎、ライエル病

### 要旨

ジスルフィラムは慢性アルコール依存症の治療で広く使用されている。ジスルフィラム療法に伴う副作用で重篤なものは稀で、その多くは肝障害である。ジスルフィラムはチトクローム P450 (CYP450) 酵素系の阻害剤であり、肝臓で代謝されるいくつかの薬物との相互作用が報告されている。ジスルフィラムと同様に、クラリスロマイシンも CYP450 のⅡ型を阻害するが、しかし、気道感染症の治療に広く使用されているにもかかわらず、ジスルフィラムとの相互作用についてはこれまで報告されていない。我々は、ジスルフィラムを投与された患者がクラリスロマイシンを処置されて間もなく、致死的中毒性表皮壊死剥脱病(ライエル病)と劇症肝炎を発症した症例を報告する。この報告は、ジスルフィラムやクラリスロマイシン療法を受けている患者で、このような重篤な皮膚病が生じた最初の症例である。この症例での薬剤投与と臨床的症状の間の時間的関連性から、2つの薬剤間の相互作用が生じているものと考えられる。